

Lions

年報 No.13 2002.6



334-A 地区アクティビティ賞銀賞受賞「花畑づくり」



蒲郡マリンライオンズクラブ

目 次

スローガン・モットー・ライオンズの誓い	1
役員一年間の回顧	2～3
次期役員の抱負	4～6
リジョン役員の回顧と抱負	6～7
アクティビティー一覧	8～9
特別活動報告〈花いっぱい運動“花畑づくり”〉	10～12
フォトコンテスト報告	13
例会活動報告	14～25
趣味部会活動報告	26～27
新入会員紹介・退会会員	28～29
役員・委員会組織	30～31
事務局日誌	32～37
会員年間出席表	38～43
編集後記	44



◆スローガン・モットー・ライオンズの誓い◆

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nations Safety

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

モットー

We Serve

(われわれは奉仕する)

2001～2002年スローガン

334 複合地区

道に明かりを 心が拓く新時代

334-A 地区

新世紀 ^{あす} 未来に伝えよ 叡智の奉仕

蒲郡マリンライオンズクラブ

地域にとけこむ 楽しい奉仕

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する



2001～2002

GAMAGORI MARINE LIONS CLUB



この一年を振り返って

会長

L 市川 寛

会員の皆様、1年間ご協力ありがとうございました。昨年7月にクラブスローガン「地域にとけこみ楽しい奉仕」を掲げて、第13代会長をさせていただき、あっという間に1年が過ぎてしまいました。

クラブスローガンを基本目標として数多くのアクティビティを行いました。7月に開催する花火大会は、計画委員会担当の夏期家族会の行事で、家族の皆様と姉妹クラブの飯田・赤石LCの皆様と船上より花火を楽しく鑑賞しました。中でもメインアクティビティであります「花畑づくり」では、今まで知らなかったことが多く、多数の方々のご指導をいただき、いろいろと勉強しました。年に1度の開花の時期にあわせての作業で、市所有の東港海岸埋立地10,000㎡を借り受け、1,500㎡の花畑づくり、肥料のない土地での土壌作りには会員一致団結の力で石拾いから始まり、堆肥まき・種まき・草取り・水まき等で汗を流しての作業が続き、大変お世話になりました。感謝、感謝の言葉であります。また、種まきにはボーイスカウト、地域の子ども会等多数の参加をいただきありがとうございました。幹事のL伴捷文、花畑作り委員長のL中野房子の活躍には頭の下がる思いでいっぱいです。おかげで第48回地区年次大会が、5月11日に名古屋国際会議場で行なわれ、当マリンライオンズクラブはアクティビティ賞では銀賞、またアクティビティフォトコンテスト優秀賞をいただきました。これも会員の汗と地域の多数の皆様の協力あつての受賞と感謝しております。また10月は福祉委員会担当で行なわれる大塚つつじ寮他5施設合同運動会に参加し、出張例会を行い、寮生の皆様と競技を楽しく行いました。運動会の記録等をビデオ、写真にまとめ施設に贈呈しました。

最後に一生に1度しかない会長任期中に体調をくずし、4ヶ月の入院をしたこと、幹事のL伴捷文、会計L榊原幸博、副会長L味岡正を初め理事会の皆様にご大変お世話になりました。皆様のおかげで無事役目を終えることができました。ありがとうございました。



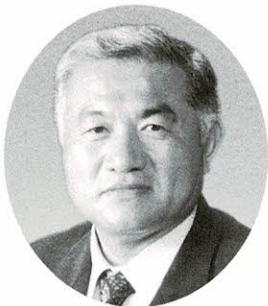
会員の皆様に感謝して

幹事

L 伴 捷文

この一年間を振り返って見ると密度の濃い、良い経験をさせて頂きました。スローガンとして“地域に溶け込む楽しい奉仕”を掲げて、市川会長の卓越したリーダーシップの下、花畑づくりが行われ、石を拾い、土を耕し、肥料をやり、種を蒔き、草取り、水遣り等々作業が続き、三月頃から順次花が咲き始め、五月中旬には満開になりました。汗を流した労力奉仕はすばらしいと実感しました。花畑づくりの委員長L中野房子はじめ会員の皆様の奉仕ありがとうございました。

幹事の役目としては、一に会長の補佐。二に会員の皆様とのパイプ役。三に運営の円滑化であると心がけてまいりましたが、おかげ様で皆様の暖かい御協力と思いやりに助けられて楽しく過ごさせて頂き、本当にうれしく思っています。只、市川会長が体調をくずされた事は本当に悔やまれます。又、味岡第一副会長には会長代行として快く務めて頂き誠にありがとうございました。この一年間、会員の皆様方のご協力に感謝申しあげます。



感 謝

会 計

L 榊原 幸博

2年間会計を務めさせて頂き、会員の皆様には、多大なる迷惑を掛け御協力をして頂きましたことを深く感謝申し上げます。

二年間に三役として色々な会合に参加させて頂き素晴らしい人の出会いが有り友達になれたことが思い出に残ります。

会員数も減り、予算に対しても厳しい物が有り、市川会長も心配され会費の値上げという事で会員の皆様に御協力をして頂きました。

この一年間、伴幹事には迷惑の掛けっぱなしで大変御世話になりました。今後共皆様の御指導を宜しく御願います。

一年間誠に有り難う御座居ました。



2001～2002

GAMAGORI MARINE LIONS CLUB



みんなの知恵で、よろこんで汗を

次期会長

L 味岡 正

蒲郡マリンライオンズクラブ第14代会長として、所信を述べます。目標として、オンリーワン（心と夢を1つにした宝の山）を目指します。スローガンは、「汗と知恵 みんなで築こう奉仕の輪」としました。実現に向けて

1. ライオンズクラブに心を
2. QC手法で、きっちりと行う

この2つをミックスした運営を考えております。すでに特別委員会、準備理事会、アンケート、フリートーキング等を行いました。これを魚の骨なるQC手法で集計してまとめております。皆さんとの話し合いで、コミュニケーションがとれ、協力してライオンズを良くしようとの、心のふれ合いが出来うれしく思っております。それは歴代の会長が築いて来られた立派な実績であり、私達のこれからの要望です。時代に合わない事はやめて、これから希望に満ちた、心にふれ合い、楽しく、活力ある、アクティビティを、皆様と共に進めてまいります。

マリンライオンズクラブは、心の夢を見つける宝の山です。宝を掘り当てるのは、貴方自身です。与えられるのを待つのではなく、積極的に参加して、両手いっぱいつかみ取って下さい。これが私達の目指す私達だけが成し得る、オンリーワンの心です。一年間私共役員を盛り立てて頂き、一枚岩で運営できます様お願いして、所信と致します。



次期幹事として

次期幹事

L 中瀬 充二

幹事に選ばれて光栄と責任を重く感じています。クラブに入会して約19年目にこの大役です。幹事役は様々な用事がたくさんあります。先日334-A地区のセミナーが開催されました。クラブ幹事の職務とは、幹事はクラブの理事会の一員であり、理事会をはじめ、あらゆる会合の運営に協力し、クラブ活動全般にわたり執行機関の中核となる役員であると教えられました。不安と緊張が交錯して身の引き締まる思いが致しています。

今の時期、政治の不信と経済不況の中にあり、クラブの活動奉仕あるいは会員維持と増強が困難な時期であります。そして、それに伴ってライオニズムの受け取り方も少しずつ変化している様にも思われます。調和のとれたクラブの運営を味岡正会長と共に進めていきたいと考えています。また良き先輩から多くの教えを受けましてこの役目を果していききたいと思っています。

クラブのアクティビティスローガンは「汗と知恵 みんなで築こう奉仕の輪」全員参加で汗を流し現代に合った奉仕をして、感動を分かち合える明るい奉仕をして地域の人々と心のふれあいの場にしたいと思っています。大役を引き受けた今、私なりに全力で進んでまいる覚悟です。皆様方の御支援、御協力を賜ります様心から御願い申し上げます。



2001～2002

GAMAGORI MARINE LIONS CLUB



恩返しの気持ちで

次期会計

L 近藤 綾子

次期会計を仰せつかりました近藤でございます。ご指名いただいたものの「非力な私に任務が全うできるだろうか」、「適任者が他にいくらでもいらっしゃるのではないだろうか」等々、思い悩んでいるうちに、日にちが経ってしまい、お引受けした形になってしまったというのが正直なところでは。とは申せ、入会当初から皆様には大変よくしていただきお世話になっておりますので、少しでもお返し出来ればという気持ちで受け止めております。

今、三役セミナーの資料を見直し、レクチャーを思い出しながら、改めて責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いがしております。

この上は、先輩方のご指導と皆様のご支援の下に任務を全うすべく微力を尽くす所存でございます。一年間どうぞよろしくお願い致します。



第二副会長として

第二副会長

L 平野 優

今年一年間を顧みますと心残りが1つあります。それは本年度L市川寛会長の大きなアクティビティであった「花畑作り」の活動において諸事情の都合で、あまり参加できなかった事です。

次年度は、時間の許す限り参加したいと思います。

又、次年度第一副会長を務めるに当たり、本年度第一副会長L味岡正のクラブに対する努力に対し、敬意を払い、見習いたいと思います。

皆さん、健康には注意しましょう。

1年間、ありがとうございました。



ゾーンの運営と クラブ間のパイプ役として

次期2R・2Z・ZC

L 市川 伊嗣

2Zは命の源である「豊川の水」の恩恵に与かる海、山など自然に恵まれた地域であります。発足当初より非常に纏まりがあり諸先輩や会員の努力によって伝統ある今日があることに敬意を表したいと思います。

今年は長引く景気の低迷で大変難しい年と言われており、会員の減少は未だに歯止めが掛らずこのままではクラブの運営自体が危惧されると言っても過言ではありません。この様な厳しい状況下での対策は色々あるものと存じますが、やはり数に頼らない会員数に応じた運営、事業の確立かと思っています。国際会長の今年度の方針の中の一つとしてアバウトで各リジョンで1つの新クラブを作る様努力しなさいということがあります。仲々の難題とは思いますが、その努力を続けながら「量より質」の両面で考えざるを得ないものと思います。御期待に添えるものとは考えませんが、この1年リジョンチェアマンと協力してゾーン6クラブの例会訪問やガバナー諮問委員会を通じてゾーンの運営とクラブ間のパイプ役として努力致しますので、会員の皆様方の御協力をお願い申し上げます。



色々課題を残した2年間でした

2R四献推進委員

L 夏目 憲行

副委員を含め2年間、大変貴重な役目を経験させて頂きました。毎月26日は正宗寺の献眼、献腎者供養塔の清掃とお参り、私も朝9時には現地へ行き、準備をして河野住職の読経、近所の方々による御詠歌の斉唱を聞き、お参りをしました。役目柄、成分献血を1年間で15回程経験させて頂きました。献眼、献腎カード及びドナーカードを一生懸命に配布しても献眼、献腎者は減る一方で、昨年度1年間2Rで10数名の会員の死亡が有りながら、献眼、献腎者は総てノンライオンでありました。日本の場合、ドナーカードで本人の意思が有りながら、家族の同意が必要で外国と違って、死者の体にメスで傷つけないと言う意識が大変強く、家族の同意が得られない場合が殆どで、ドナーカードに家族の同意が必要無い構造改革は必要だなとつくづく思い知らされました。